

2016年7月④600号

議員団HP <http://jcpatsugi.blog.shinobi.jp>

今週の活動から



厚木市議員団では、日常的に議会報告を行うため、それぞれの車にスピーカーをつけています。毎月、厚木警察に2,000円の証紙を貼って道路使用許可申請をしています。宣伝をしていると声をかけてくれる人もいて、うれしいです。（上：釘丸久子議員）



今年の鮎まつりは第70回。8月6日は花火大会です。栗山議員は7日のフィナーレ、民謡おどりに出ることになり、東町スポーツセンターでの練習に浴衣で参加。一曲踊るごとに、担当の市職員が、巻き尺で進み具合を測るのに驚きました。本番の50分間をどうするのか綿密に計算していました。

（下：栗山香代子議員）

電気を選んで社会を変えよう

なくそう原発あつぎの会 セミナー

今年は3・11以降で初めて政府からの「節電要請」が無い夏となりました。稼働している原発は川内原発のみ。7月に再稼働を予定していた伊方原発はトラブルが相次ぎ遅れています。

そんな夏の7月24日（日）アミューあつぎで「なくそう原発あつぎの会」が主催するセミナー「電気を選んで社会を変える！&福島の実況（帰還政策・健康被害など）」がありました。講師は国際環境NGO「エフ・オー・イー・ジャパン」の吉田明子さん。Friends of the Earth Japanの略で、地球上すべての生命がバランスを取りながら心豊かに生きることができ、「持続可能な社会」を目指し、1980年から環境問題に草の根で取り組んでいる認定NPO法人です。

今回の講演のテーマは「パワーシフト 自然エネルギーを重視する電力会社を選ぼう」

電力システム改革と



講演する吉田明子さん

小売全面自由化

3・11以降、電力システム改革についての国民的議論があり、パブリックでも「原発ゼロ」を求める声があった。しかし、まったく無視されている。中央集権的な流れを変えていくという動きがある。

今年の4月から電力小売が完全自由化となった。2020年には送配電部門が法的分離される。再生可能エネルギーは右肩上がりに増えている。

電力小売全面自由化と

現在の状況

登録小売電気事業者は全国で300社以上。安さが中心のプレイヤーが多い。電源構成の開示は義務ではない。

4月から、電気料金請求書の裏面に「託送料金相当額」も書かれている。

自然エネルギーの電力会社を応援
パワーシフト・キャンペーン

家庭向け小売供給の見通しは厳しく、自然エネルギーの絶対量は少ないが、パワーシフト宣言で「再生可能エネルギーを重視する消費者の声を可視化して電力会社を後押ししよう。」

自然エネルギーでの電力供給を国に働きかけよう。

「安さ」ばかり求めると

石炭火力や原発推進に

安さをいうと石炭火力や原発の推進につながる。安さだけではない選択で非化石電源を活用しよう。2014年は原発ゼロでも温室効果ガスは低減している。自然エネルギーが主役の社会をつくらう。何も言わないと原発推進に加担することになってしまう。

講演後に、福島から神奈川に避難している方と講師との対談がありました。

放射線量が高い状況での避難指示区域の解除と賠償打ち切り、来年の3月で避難指示区域外の避難者への無償住宅供与の打ち切りなどが話されました。

最後に会の共同代表から話がありました。

「一人ひとりの暮らしの中で再生エネを選んでいく。生活のレベルから意識を変えていく。それを積み重ねることが、原発廃止の大きな力になる。」

会は2013年5月に発足した。事故から2年が経ち、風化してしまいかもしれない。しかし当事者には重くなっていく。私たちは電気を福島から買っていた。学ぶことを繰り返していきたくて、この会をつくった。

原発事故を二度と起こすことのないよう、映画や講演会をとおして、一人でも多くの人に語りかけていきたい。

原発をなくすために一人ひとりができることがある。そして、政治ができること、政治にできないことがある。とがあります。

厚木市議会第3回会議

8月4日に開催

8月 4日（木） 13時～
・新常任委員会の選任
・補正予算 など